

文化財保存・活用特別委員会 設置理由

千代田区は、江戸開府以来の長きにわたり、政治・経済・文化の中心として発展し、郷土の歴史を伝える文化財や歴史的資料、伝統工芸など数多くの文化資源を有しています。この貴重な文化資源が、時代の変遷の中にあっても、滅失や散逸等、価値を損なわずに保存・活用され、次代を担う人々に正しく継承していくことが区の責務であります。

しかしながら、平成 31 年度当初予算審議において、長年にわたり文化財台帳が未整備であったことや、資料等の温湿度管理が一部不適切であり、適正な保管をするための設備が十分でないこと等の指摘があり、区議会では関連事項の予算執行に対する附帯決議が全会一致で議決されました。

また、教育と文化のまち千代田区宣言を踏まえ、区が組織横断的に対応し、文化財の計画的な保存・活用を促進していかなければなりません。

区民の財産であり貴重な文化財の本質的な価値が毀損されないよう、計画的に有形・無形を含めた現状の把握を行い、文化財に係る専門的知見を有する学識経験者や学芸員等の人材確保や収蔵設備の再整備、複数所管が連携した文化財の利活用の促進など、全庁的に取り組むことが不可欠であり、これら所管事項が多岐にわたることから、ここに特別委員会の設置を提案するものです。

名称は、 文化財保存・活用特別委員会

調査事項は、文化財の保存・活用に関する事項

定数は、 12名

設置期間は、調査の終了するまで

文化財保存・活用特別委員会委員・理事者名簿（案）

令和元年6月24日現在

1 委 員		(会 派 名)
委 員 長	たかざわ 秀行	(千代田区議会 自由民主党)
副 委 員 長	小 枝 す み 子	(ち よ だ の 声)
委 員	小 野 な り こ	(都 民 フ ァ ー ス ト の 会) (千 代 田 区 議 会)
委 員	う が い 友 義	(千代田区議会 自由民主党)
委 員	西 岡 め ぐ み	(千代田区議会 自由民主党)
委 員	飯 島 和 子	(日 本 共 産 党 区 議 団)
委 員	木 村 正 明	(日 本 共 産 党 区 議 団)
委 員	永 田 壮 一	(千代田区議会 自由民主党)
委 員	は や お 恭 一	(千代田区議会 自由民主党)
委 員	大 串 ひ ろ や す	(公 明 党 議 員 団)
委 員	林 則 行	(千代田区議会 自由民主党)
委 員	小 林 や す お	(千代田区議会 自由民主党)

2 理 事 者 [○は常時出席理事者]

(1) 子 ど も 部 (3 名)	(内 線)
○ 子 ど も 部 長	大 矢 栄 一 (3100)
○ 教 育 担 当 部 長	村 木 久 人 (3101)
○ 子 ど も 部 参 事 子ども総務課長(事務取扱)	恩 田 浩 行 (3110)
(2) 地 域 振 興 部 (4 名)	(内 線)
地 域 振 興 部 長	細 越 正 明 (2300)
○ 文 化 ス ポ ー ツ 担 当 部 長 オリンピック・パラリンピック担当部長(兼務)	小 川 賢 太 郎 (2250)
地 域 振 興 部 参 事 コミュニティ総務課長(事務取扱)	依 田 昭 夫 (2310)
○ 文 化 振 興 課 長	永 見 由 美 (3150)

文化財保存・活用特別委員会委員・理事者名簿（案）

令和元年6月24日現在

(3) 環境まちづくり部（3名）

（内線）

○環境まちづくり部長	松本博之	（8200）
道路公園課長	谷田部継司	（2740）
基盤整備計画担当課長	須貝誠一	（2780）

(4) 政策経営部（7名）

（内線）

政策経営部長	清水章	（2100）
行政管理担当部長	吉村以津己	（2050）
政策経営部参事 総務課長（事務取扱）	古田毅	（2110）
企画課長 政策担当課長（兼務）	亀割岳彦	（2120）
政策経営部参事 財政課長（事務取扱）	中田治子	（2130）
施設経営課長 区有施設担当課長（兼務）	加島津世志	（2850）
人事課長	大谷由佳	（2230）

※ その他、必要に応じ関係理事者の出席を求めることとする。

担当議事：橋場 広明（3314）